

「AGIはもう来ている」は本当か？：科学的検証と現実のギャップ

主張 vs. 検証：AGI到来の真実

真の課題：研究加速とAGIの境界線



「AGI到来」の信頼度は「低」

専門家のガイダンスが必要な「弱いAGI」の段階であり、完全な自律性は未達成。



博士研究「半年を1週間」の裏側

既知情報の再構成である可能性が高く、未知の課題を解く「汎用性」の証明には不十分。

中～高 科学研究の加速は「中～高」の確度



\$30,000

\$25



3万ドルの計算を25ドルに削減するなど、特定タスクの劇的な効率化は事実。





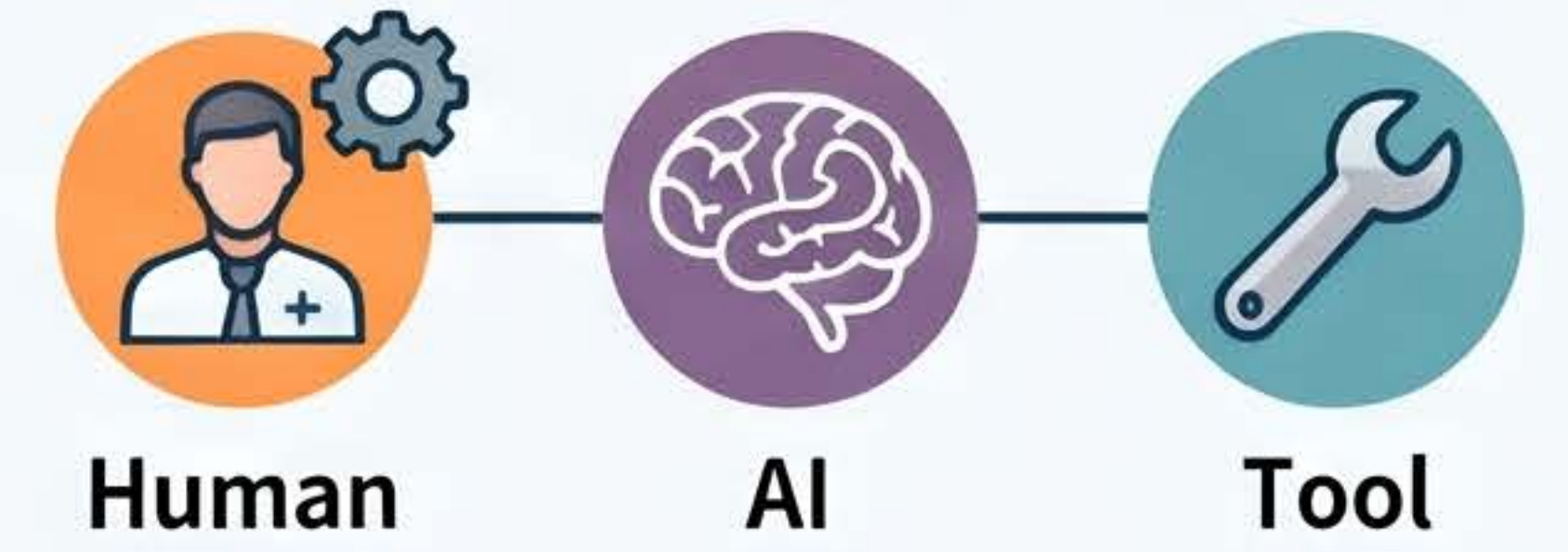
AGIの要件は「速度」ではなく「汎用性」

特定の高度なタスクを速く解くことと、未知の難問に自律適応することは別。

汎用性

主張と検証結果の対比

評価項目	記事・マクシメンコ氏の主張	本調査による検証結果
 AGIの成立	✓ 「AGIはもう来ている」	✗ 低：自律性や汎用性が未立証
 研究加速	✓ 半年の研究を1週間で再構築	✓ 中～高：ツールとしての性能は高い
 量子計算	✓ AGI成立の鍵である	✗ 低：あくまで高度な専門ツールの一つ



専門家+AI+ツールの複合効果

AGIが単独で動くのではなく、人間の主導による「研究プロセスの圧縮」が現在の実態。



第三者による独立検証の欠如

劇的なコスト削減等の数値はペンダーの内部報告であり、査読された科学的事実ではない。